

高齢者のくらしを支える地域づくり

助け合い活動の仕組み

おかえり高齢者 チーム 奥田・川崎・次廣・山本

静岡市高齢化率

静岡市 高齢化率 **29.1%** (H28.10 現在)

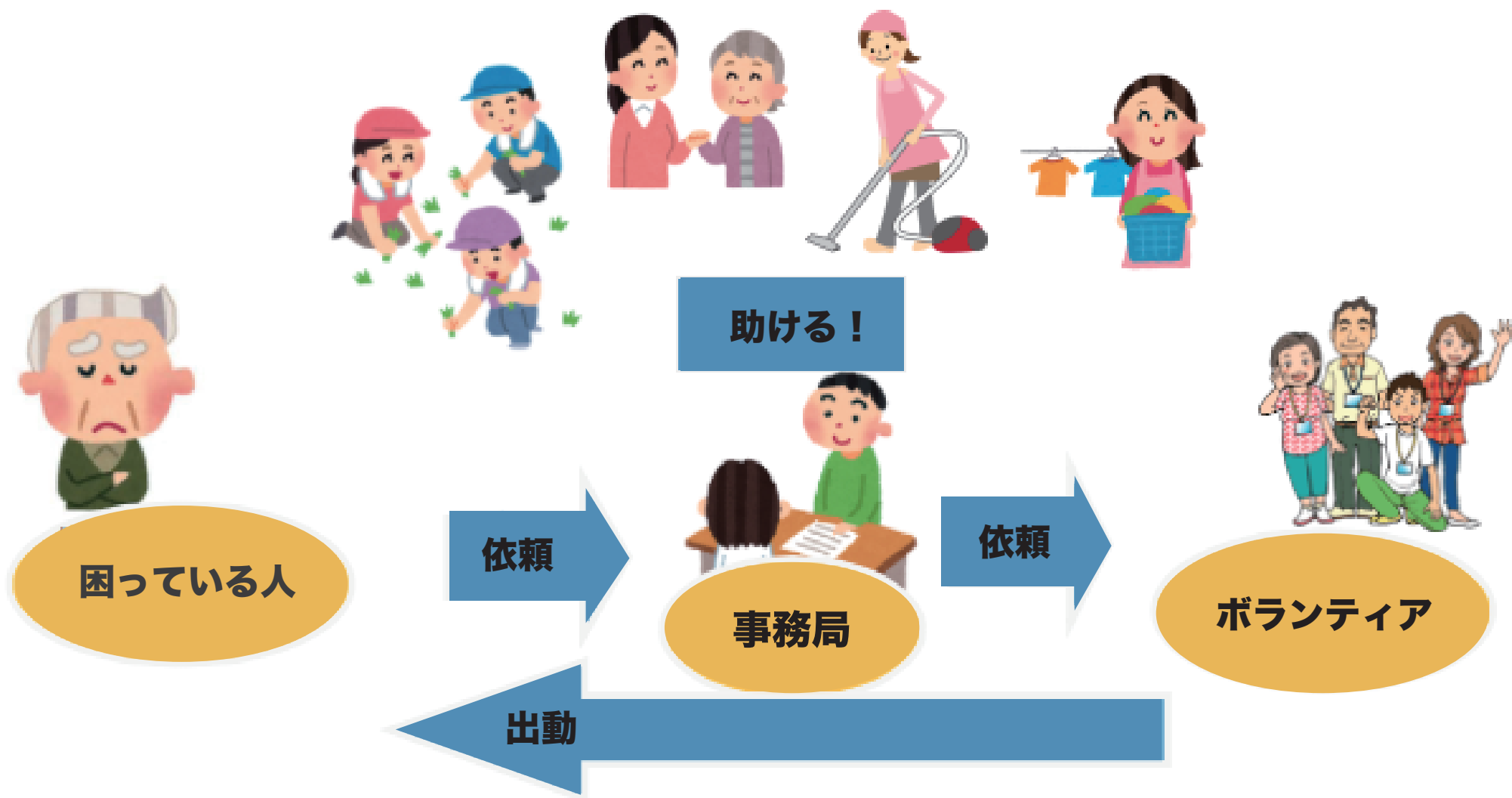
約 3 人に 1 人が 65 歳以上

市内 75 歳以上 16,342 の内 **16.8%** が一人暮らし

制度の一覧表

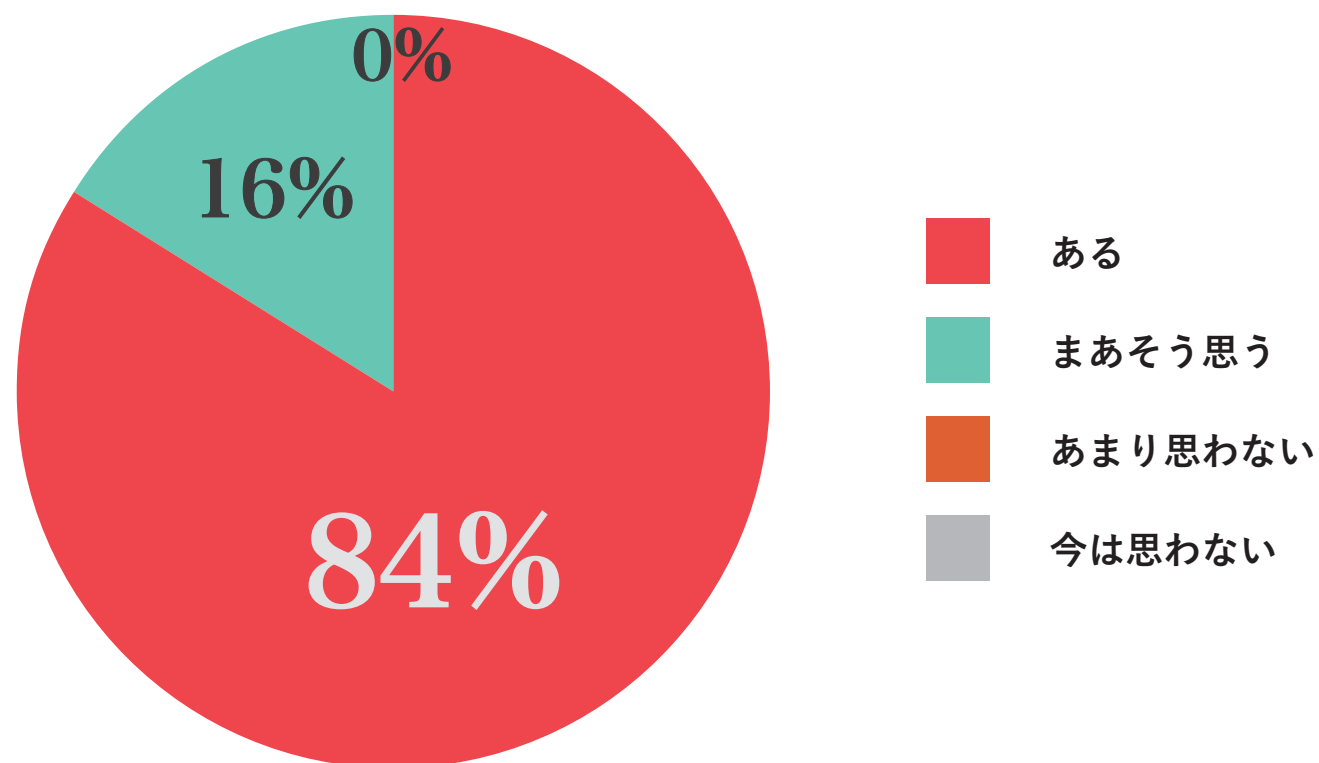
	日常介護	受診	金銭管理	洗濯	安否確認	ゴミ捨て	買い物	庭の手入れ	話し相手
介護保険	○	×	×	△	○	△	△	×	△
地区社協	×	×	×	×	○	×	×	×	△
民生委員	×	×	×	×	○	×	×	×	△
民間サービス	×	△	×	×	○	×	△	×	×
地域包括	×	×	△	×	○	×	×	×	×
助け合い会	△	○	×	○	○	○	○	○	○

助け合い活動の仕組み



地区社協（葵区）へのアンケート結果

Q 助け合い会の必要性がありますか？



チームおかえりからの提案

step 1

地域の特定

必要性の高さを判断。独居率、高齢化率が高い地域



step 2

協力者を募る

冊子、パワーポイントを使って地域福祉懇談会等に参加し必要性を訴える。

step 3

地域内事務局の立ち上げ

地域住民により、本部となる事務局を立ち上げる



step 4

ボランティアを募る

地域住民や、隣接地域から支援を手伝うボランティアを募集

step 5

実施と改善

他地区の助け合い会との繋がりを作り、お互いの課題を解決

助け合い会のメリット

受益者



無料または低額で利用できる。制度で救えない課題を解決でき、住み慣れた地域で暮らし続けることができる。

支援者



人の役に立つことにより、やりがい・生きがいができる。また、後に自分に必要になったときに助けてもらえる。

行政



公的サービスで救えない課題が、住民により解決される。また、社会保障費も軽減できる。

チームおかえりの目標

5年以内に市内全地区に助け合い会の設立

地区は 概ね地区社協単位を想定とする